

## 魚介類中のPCB検査結果（令和4年度）

令和4年5月及び10月に中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。その結果、表に示すとおりマサバ1検体からPCBを0.01ppm検出しました。検出された値は、暫定的規制値以下でした。

表 PCBの検査結果

食品の種類	検体数	検出件数	結果	暫定的規制値	
遠洋沖合魚介類	ババガレイ	1	0	不検出	0.5ppm
	マガレイ	1	0	不検出	
	マコガレイ	1	0	不検出	
	マサバ	2	1	不検出、0.01ppm	
内海内湾魚介類	シログチ	1	0	不検出	3ppm
	ブリ	1	0	不検出	
	マアジ	1	0	不検出	
	マダイ	1	0	不検出	
	ヤリイカ	1	0	不検出	
計	10	1			

(検出限界:0.01ppm)

### 《PCBについて》

PCBとは、ポリ塩化ビフェニル(Poly Chlorinated Biphenyl)の略称で、ポリ塩化ビフェニル化合物の総称です。理論的には209種類の異性体があり、ダイオキシン類に分類される異性体も含まれています。

PCBは化学的に安定で、不燃性、高絶縁性などの特徴を持つため、変圧器、コンデンサーなどの様々な用途に使用されてきましたが、カネミ油症事件による健康被害が社会問題になり、現在は製造・輸入ともに禁止されています。また、PCBは分解されにくく脂肪に溶けやすい性質があるため、環境中に放出されたものは食物連鎖の上位に位置する生物に蓄積され、魚介類、肉類、乳製品などに汚染が広がり問題となりました。

PCBは長期にわたりほとんど処理が行われていませんでしたが、平成13年6月22日に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB特措法)が公布され、現在では処理が進められています。東京事業エリア(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)においては、高濃度PCB含有の変圧器・コンデンサー等は令和4年3月31日をもって処分期間終了となりました。安定器及び汚染物等は令和5年3月31日まで、低濃度PCB廃棄物は令和9年3月31日までに処分が必要です。

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】